

県立石下紫峰高等学校自己評価表

目指す 学校像	1 「心の教育」の充実に努め、人間としての在り方生き方の自覚を深め、豊かな人間性を育成する学校 2 心身ともに健全な活力ある人間の育成を目指し、自主的活動を推進する学校 3 多様な進路希望に対応し、一人一人が主体的な学習を通して自己の能力を伸ばし、自己実現を可能にする学校 4 実践的・体験的な学習を積極的に取り入れ、適切な勤労観・職業観を育成し、社会の一員として活躍できる人間を育成できる学校 5 保護者・地域社会との連携を深め、社会から信頼される開かれた学校		
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況
1 成果 少人数・習熟度別授業、中学時の国数英の復習、日本語の補習等の取組は、基礎学力の定着に十分な効果を挙げた。 また、本校職員のきめ細かな指導とハローワークとの連携による就職指導等により、本年度も就職内定率100%が実現できた。 更に、英検課外の実施や進学希望者へのきめ細かな指導により、英検2級、準2級等の合格者の輩出や大学・短期大学合格者数の増加につなげることができた。	基礎・基本の学力の養成	① 「ISベーシック」や各授業を通して、基礎学力の育成を行う。 ② 多様な個性の生徒への、きめ細かな学習指導方法の工夫・改善を図る。 ③ 授業公開の積極実践と相互研鑽を行い、授業展開の工夫等の教授法の改善に努める。	A
	基本的生活習慣の確立 生活指導の充実	④ 生徒の日常の生活実態を把握し、家庭と連携して規則正しい生活リズムの確立を促し、基本的生活習慣の確立のための指導を充実する。 ⑤ 欠席、遅刻を減らす。正しい服装・頭髪への指導を行う。交通安全指導を充実し、あいさつの励行を図る。 ⑥ いじめや問題行動等の未然防止と早期解決を図るための指導を行う。 ⑦ 好ましい人間関係づくりの指導・コミュニケーション能力の育成を行う。 ⑧ 規範意識の確立、道徳心の高揚、他者への思いやり醸成のための指導を行う。 ⑨ 個人面接等を充実して、生徒理解を深め、生活面で適切な指導を行う。 ⑩ 教員間での生徒の問題の共有と共通理解に基づく共通行動体制の確立を行う。 ⑪ スクールカウンセラーを積極的に活用し、学校と家庭との連携を図る。	A
	進路指導の充実	⑫ 3年間を見通した計画的・系統的なキャリア教育を推進し、生徒一人一人の興味・関心・適性などに応じた「自分さがし」を援助する。 ⑬ 個人面接等を充実して、生徒理解を深め、長所や短所を把握し、進路面で適切なアドバイスを行う。 ⑭ インターンシップ等を積極的に推進し、望ましい勤労観・職業観を醸成する。また、学校見学、各種ガイダンス、検定試験、必要に応じた課外等を充実する。	A
	特別活動の推進	⑮ 生徒が活力ある学校生活を送れるように、生徒会・部活動の活性化を学校全体で推進する。 ⑯ ホームルーム活動や部活動などの集団活動を通して、心身の発達と個性の伸張、コミュニケーション能力の育成や他者への思いやり涵養などの社会性を育成する。	B
	アクティブスクールへの移行完成と改善への取組	⑰ ISベーシックⅢ及びISキャリアスタディⅢの円滑な運営を実施し、ベーシックⅠ及びキャリアスタディⅠからベーシックⅢ及びISキャリアスタディⅢまでの系統的な指導体制を完成させる。 ⑱ アクティブスクールを、PDCAサイクルで見直し、より効果的な指導体制に向け改善を実施する。	A
2 課題 課題として生徒の学習意欲を更に高め、生徒一人一人の多様な進路希望の実現に向けた取組内容工夫が挙げられる。 また、体験的な教育活動を更に充実させ、生徒が主体的、積極的に活動する場を増やすことで、生徒一人一人が、学校の教育活動と自己の将来をつなげて考えられるような取組の充実を図る。	地域から信頼され、評価される学校づくり	⑲ 文化祭等の学校行事への保護者や地域住民の参加を促し、地域へのボランティア活動や地域行事への参加を行うことにより、本校への理解と評価を高める。 ⑳ 近隣中学校や地域への広報活動を一層充実し、学校の特色や取り組み・活動を広く知ってもらうことで、学校への評価と信頼を高める。	A
	創立10周年記念式典の成功	㉑ 本年度9月に迎える学校創立10周年記念式典に向けて、実行委員会を中心として、滞りなく進める。	A

※ 評価基準 A：十分よい B：よい C：やや不十分 D：不十分

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価		次年度(学期)への主な課題
教科指導	密度の濃い授業を展開する。	学習目標に沿った授業計画を立案し授業に臨む。①②	A	B	・新学習指導要領を踏まえた主体的・対話的で深い学びにつながる授業改善
		授業実施後は、適宜、生徒の学習内容の定着状況を把握し、授業の改善に努める。①②③	B		
国語	基礎・基本の学力を養成する。	生徒の実態を踏まえた年間計画を作成・実施し、その中で絶えず指導の工夫改善に努める。①②③	A	B	・本校の実態に即した方法でアクティブ・ラーニングを取り入れ、主体的な学びの授業を展開したい。 ・1年時のISベーシック、2.3年次の短時間授業を通して基礎・基本の学力を身につけさせたい。 ・日本語を母語としない生徒にきめ細やかな対応をする。
		生徒の理解状況や指導方法について、担当者間で打合せをし、きめ細かな指導を行う。②③	A		
		選択科目等を活用しながら、漢字検定・日本語検定の合格者を増やすために指導を徹底し、合格率アップに努める。④	B		
		日本語が母語ではない生徒に対し、必要に応じて課外を開講するなどして、基礎学力の養成を目指す。②	B		
	個に応じた指導を行う。	少人数授業、習熟度別授業を設定し、個に応じた助言を行うことで、全員が分かる授業を展開する。②③	B		
		科目の目標や指導内容等を明確にした年間計画を作成する。①②	B		
地歴公民	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身に付けられるように、教材や指導方法を工夫改善する。①	B	B	・科目の目標を設定し、生徒一人一人が、基礎的な内容を身につけられるように工夫する。日本語を母語としない生徒の人数が増加していることに対応し、教材を工夫する。 ・主権者教育のさらなる充実や言語活動やアクティブ・ラーニングを取り入れた授業展開など、授業力の検討を図りたい。
		資料・史料の活用や、発見学習等の要素を取り入れる。②③	B		
	個に応じた魅力ある授業を展開する。	生徒の実態に応じて、少人数指導や話し合いを行うなど授業展開の工夫を図る。②③	A		
		長期休業中や放課後等に、学習の遅れがちな生徒や学習意欲が旺盛な生徒への学習指導等、個に応じた指導を行う。②③	A		
数学	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	生徒の実態に応じて、教材を吟味し授業展開の工夫を図る。①②	A	A	・生徒の実態・進路に応じ、学習内容の精選をし、アクティブ・ラーニングを導入した授業内容・展開を工夫したい。 ・少人数クラスごとの進度の差を小さくする工夫を取り入れたい。
		例題や問題を多く出題する。①②	B		
		机間指導を多く取り入れる。②	A		
	達成度に応じた魅力ある授業を展開する。	問題集やプリントを活用し、生徒の達成度に応じた指導を行う。①②	A		
		成績不振者を出さないよう、補習等を行う。①②	B		
	基礎的学習能力を高める。	少人数クラスによる授業を実施する。基礎的な内容を扱う時間を設ける。①	A		
理科	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	学習目標及び学習内容(評価規準等を含め)を明確にし、年間学習計画に基づいて適切な進度で指導する。①②	B	B	・学習内容の精選や進度の適正化を継続し、生徒が無理なく習熟できる計画づくりを行うことで、成績の向上を図り、成績不振者0名を目指す。 ・アクティブ・ラーニングや実験・観察の内容を充実させ、実施時間をさらに増やす。
		生徒が理科に興味・関心を示す教材の開発や指導法の研究をする。①②	A		
	個に応じた魅力ある授業を展開する。	実験や観察を積極的に展開する。生徒と教員が互いに学びあうアクティブラーニングの授業を展開する。指導法などについて教科内研修を行い、互いの指導技術を高める。①②③	B		

※ 評価基準 A：十分よい B：よい C：やや不十分 D：不十分

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題
保 健 育	指導内容や指導方法の工夫を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。 ①③	B	B ・生徒個々の興味・関心・意欲や技能に差がある中で、協調性を育む指導法を工夫したい。 ・生涯に渡って運動に親しむためのポイントを具体的に提示できるよう指導法を工夫したい。
		生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身に付けられるように、教材を工夫改善する。 ②③	B	
		多面的な角度から評価ができるように工夫する。 ②	A	
	本校の教育方針に則った授業展開を工夫する。	自主的な活動を促す授業展開を工夫する。 ②	A	
		体育の授業(球技を中心に)においてコミュニケーション能力の育成を図る。 ②	A	
		体育の授業において忍耐力を養う授業展開の工夫をする。 ②	B	
教 芸 術	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	学習目標及び学習内容(評価基準等を含め)を明確にし、年間学習計画に基づいて適切な進捗で指導する。 ②	A	A ・生徒個々の技術に差がある中、生徒の芸術に関する興味・関心を高め、自ら前向きに芸術活動に参加する態度を養っていききたい。 ・芸術文化についての理解を深められるよう、我が国の伝統的な芸術文化について積極的に授業に取り入れていききたい。
		生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身に付けられるように、教材を工夫改善する。 ①②	A	
	個に応じた魅力ある授業を展開する。	生徒の実態に応じて、少人数指導を行う等授業展開の工夫を図る。 ②	A	
		長期休業中や放課後等において、学習の遅れがちな生徒や学習意欲が旺盛な生徒への学習指導等、個に応じた指導を行う。 ②	B	
	自己評価によって学習の軌跡を振り返る。	自己評価カードや創作ノート等を活用する。 ②	A	
科 外国語	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。 ①②	A	B ・基礎的・基本的な学習能力の定着と向上を図っていききたい。 ・プリントなどの工夫、改善と担当者間での情報交換により、生徒の理解を助けるようにしていきたい。 ・教科内での授業公開と授業検討会を通して、生徒の理解を助けるような授業のあり方と方法を探っていききたい。
		生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身に付け、ISベシックでの学び直し、教材活用を工夫改善する。 ①②	B	
		授業公開と教科会での授業検討会等を通し、担当者間や教科内で情報交換を行い、研修に努める。 ①③	B	
	個に応じた魅力ある授業を展開する。	少人数習熟度別クラス編成により、生徒の実態に応じた授業展開を工夫する。 ②③	B	
		長期休業中や放課後等を活用し、学習の遅れがちな生徒や学習意欲が旺盛な生徒に対し、個に応じた学習指導を行う。 ②③	B	
家 庭	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。 ①②	A	B ・基礎的・基本的な内容を定着させるために、教材や授業展開を工夫改善する。 ・「体験型」の教材を取り入れ、生徒の興味・関心を高め、実践力を養っていききたい。 ・学習が遅れがちな生徒に対しては、クラス担任と連絡を密にしながら補習を行いたい。
		生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身に付けられるように、教材を工夫改善する。 ①②	B	
	個に応じた魅力ある授業を展開する。	生徒の実態に応じて、少人数指導を行うなど授業展開の工夫を図る。 ②③	B	
		長期休業中や放課後等において、学習の遅れがちな生徒や学習意欲が旺盛な生徒への学習指導等、個に応じた指導を行う。 ①③	A	

※ 評価基準 A：十分よい B：よい C：やや不十分 D：不十分

評価項目		具体的目標	具体的方策	評価	次年度（学期）への主な課題			
教 科	情報	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。 ①②	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人が基礎、基本的内容を身につけられるよう、教材、指導内容の研究、工夫を重ねていきたい。 		
		個に応じた魅力ある授業を展開する。	生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身に付けられるように、教材及び指導方法を工夫する。 ①②	B				
	商業	指導内容や指導方法の工夫改善を図る。	科目の目標・指導内容等を明確にした年間計画を作成する。 ①②	B			B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に取り組めるように基礎・基本の徹底をはかり、社会に出て使える実践力を身につけられるよう指導したい。 上位級を取得できるように、放課後の課外などで個の生徒にあった指導をしていきたい。
		個に応じた魅力ある授業を展開する。	生徒一人一人が基礎的・基本的内容を身に付けられるように、教材を工夫改善する。 ①②	B				
		資格取得に力を入れた指導を展開する。 ⑭	A					
		生徒の実態に応じて、楽しく分かる授業展開の工夫を図る。 ②③	A					
教 務	基礎的学力養成を基盤とする教育課程の構築		放課後等において、学習の遅れがちな生徒や学習意欲が旺盛な生徒への学習指導等、個に応じた指導を行う。 ②③	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力養成とその診断に文科省認定の「高校生の学びの基礎診断」測定ツールを活用し、ISベーシックの教材内容をリンクさせ、指導の工夫と充実に向けたPDCAサイクルを構築する。家庭学習の促進にもつながる教材内容を検討する。 少人数クラスや習熟度別クラスにおける授業を相互参観する機会を増やし、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業実践を推進するための校内研修体制を整備していく。 地域に開かれた学校運営の一助となるために、本校の特色ある教育活動について、効果的な情報発信を推進していく。 新学習指導要領への改訂に向け、本校の教育課程についても審議を継続させていく。 		
			教科間の連絡調整を密に行い、少人数・習熟度別授業を無理なく展開させるための校内体制を整える。国・数・英については家庭学習課題についてもISベーシックと連動するよう調整を行う。 ①②③⑩⑰⑱	B				
			秋に保護者や地域の方々を対象とした公開授業を実施する。その際、アンケート調査を実施し、結果を活用する。 ①②③⑱⑳	B				
		現在の教育課程における課題点を把握・整理し、教育目標達成に適した教育課程となるよう、継続的に検討を重ねる。 ②③⑫⑰⑱	B					
	学習意欲の向上	学習実態調査等をもとに生徒の学習実態を明らかにし、授業や家庭学習への取組状況の改善を図る。 ①②③④	B					
		少人数・習熟度別授業の実施を継続するとともに、教科を越えて授業を互観したり、学習意欲を喚起する指導方法を研修したりする機会を増やしていく。 ①②③⑱	B					
	家庭や地域社会との連携	欠席・遅刻防止の指導に努め、出席状況等も保護者との連絡を密にし、規律ある生活へのサポートを家庭と協力して行う。 ④⑤⑨	A					
		学校説明会において「体験学習」の実技発表や自由選択科目の公開授業を実施し、特色あるカリキュラムをPRする。 ②③⑱⑳	A					
		本校の教育活動について、機会を捉え、「学校だより」やホームページ、各種メディア等で積極的に発信する。 ③⑱⑳	A					

※ 評価基準 A：十分よい B：よい C：やや不十分 D：不十分

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題	
生徒指導	基本的 生活習 慣の確 立	日常生活のリズムの確保を図る。	HR, 授業, 登校指導を通しての日常的な生活指導を重視する。 ③⑤	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒との信頼関係の構築を基本にして、保護者との連携を密にしながら、日々の生活指導の充実に努める。 交通事故撲滅に向けて、講演会の実施や車両点検・整備指導を充実させる。 教員はもちろんのこと保護者・生徒も含めて、「いじめに対する認識」のレベルを上げていく取り組み(研修・講話・アンケートなど)の充実に努める。
		服装, 頭髪等の改善と生活マナーの向上を図る。	毎日の服装容儀指導, 定期的な集会での検査, 不合格者の指導を徹底する。 ④⑤⑧⑨	A	
		交通安全, 交通ルールへの順守, 自転車・バイクの安全運転と管理を徹底する。	集会での講話, 校外キャンペーン活動, HRでの指導や定期的な安全検査を実施するとともに, 啓発ちらしの配布を行う。 ⑦⑧⑨	B	
		常に生徒の実態把握に努め, いじめ, 問題行動や退学志向の未然防止を図るとともに素早い対応を行う。	面談や観察及び巡回指導を重視するとともに, 情報の共有化を図り, 年次間で協調して指導をする。 ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	B	
	校内生徒指導体制の充実強化	クラス内の生徒間の好ましい人間関係づくりに努める。	HR経営の研修や各種アンケートを実施する。 ④⑥⑦⑧	B	
		生徒の自主的活動を育て生活改善に取り組む。	特活行事の工夫, 生徒参加の校外キャンペーンの実施(さわやかマナーアップ), 自主的体験活動の実施に努める。 ⑬⑭⑮	B	
		教育相談の校内体制を整備し, 機能的な取組に努める。	相談体制の周知広報に努めるとともに, 相談チームの活性化を図る。 ⑨⑩⑪	A	
		家庭, 中学校, 警察, 地域など校外関係機関との連携強化を図る。	P T A 関連行事の活用, 家庭訪問や近隣中学校の訪問, 警察署との密接な交流などを実施することで, キャンペーンの広報及び協力要請を行う。 ⑱⑲	B	
進路指導	年次と連携し, ホームルームや総合の時間を利用して体系的な進路指導を行い, 生徒の希望する進路を実現させる。	1年次: インターンシップや進路ガイダンスを通し, 適切な職業観を育成する。その上で, 2年次の授業の選択及び進路について考えさせる。 ⑫⑬⑭	A	<ul style="list-style-type: none"> 各年次において進路意識を高めるような取組を実施していただいております。成果を上げている。 基礎学力の向上に向けた取組は組織として行っているとは言い難い。次年度以降の課題である。 	
		2年次: 進路別ガイダンスや講話により, 各自の進路に関する知識を深めさせる。また, 面接や履歴書の書き方などの練習を行い, 3年次の進路活動を意識させる。 ⑫⑬⑭	A		
		3年次: 個人面談を充実させ, 個に応じた指導を行い, 進路を決定させる。面接や自己PRなどの練習を繰り返し, 生徒が自信を持って受験できるよう指導する。 ⑫⑬⑭	A		
	希望する進路を実現させるため, 基礎学力の向上をめざして組織的な取組を行う。	基礎学力向上および生徒の進路意識を高めるために, 成績不振者・学力向上に向けた指導および一般常識テストを適切な時期に実施する。 ⑫⑬⑭	B		

※ 評価基準 A: 十分よい B: よい C: やや不十分 D: 不十分

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題	
保健厚生	自己の健康保持増進について意識の向上をはかれるように努める。	定期健康診断を実施し、適切な指導を行う。 ④	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み以降の受診率が上がるよう、12月の保護者面談時にも治療勧告を配布していく。 救命講習、性教育講演会は、よりよい実施状況を検討しながら継続していく。 避難訓練で、救助袋体験の実施に努力していきたい。 自販機のフリー販売をめざしていきたい。
	災害の未然防止と発生時の適切な対応力を身につけ、安全への意識を高める。	救命講習会を実施する。 ④	A		
	環境美化の意識を向上させる。	性的に関する講演会を通し、かけがえのない命を大切にすることを養い、自己肯定感がもてるようにする。 ④⑪	A		
		避難訓練を実施する。 ④	B		
渉外	P T A活動を充実させ、活動に対する保護者の意識高揚を図る。	基本的な生活習慣(ごみは分別してごみ箱へ)を意識付けし、毎日の清掃指導を徹底する。 ④⑧	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 日程の工夫により、P T A総会での帰宅者が減少した。引続き出席者を増やす工夫を行う。 研修旅行や柏葉祭等の行事で保護者の意見を取り入れた魅力ある企画を行う。 創立10周年記念式典を実施した。式典に関する反省点をまとめて20周年式典に活かせるようにする。
		本部役員を中心に共通理解を深め、会員が協力して円滑で充実したP T A活動が実施できるように努める。 ⑱⑳	B		
		P T A総会、研修旅行、柏葉祭、各種研修会などのP T A行事を魅力的なものにすることで、参加率を向上させる。 ⑱	B		
		10周年記念事業に向け、P T A役員と連携して業務を円滑に進める。 ㉑	B		
		広報活動を通じて、保護者の学校理解を深める。	P T A会報の内容を充実させることで、保護者に積極的に読まれるような紙面作りを行う。 ⑱		
	同窓会活動の推進を図る。	10周年記念事業に向けて、同窓会役員と連携して同窓会活動を活性化させる。 ⑱⑳	B		
図書	読書意欲の向上を図る。	図書委員会活動を定着させ主体的に活動させる。学級文庫を年間2回実施し、読書を奨励する。 ①⑦⑧	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 図書委員会活動について内容の見直しを検討する。 授業等で利用しやすい書架作りを進める 廃棄図書を選定し、書庫の整理を進める。
	図書・資料の充実を図る。	購入希望図書の調査をし、バランスの取れた図書購入をする。 ①	B		
		購入図書の広報、本の情報を掲示・展示する。 ②⑫	B		
	図書館・視聴覚室の利用を促進する。	授業に必要な図書・視聴覚資料を購入する。 ①②⑫	B		
		生徒向けのビデオ上映会を行い、図書を身近なものとして意識させる。 ①	A		
	図書管理のシステム化を進める。	図書の整理を行い、書架を見やすく整理する。 ①②	B		
特別活動	H R・生徒会活動・学校行事・地域の行事への参加を通して、自主的で実践的な人間形成に努める。	行事への生徒の主体的な参加を促し、学校行事の活性化を目指し、地域からの本校への理解を高める。 ⑮⑱⑳	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会役員を中心としたリーダーの育成。地域の行事への参加、勤労奉仕の精神の育成。 各行事のごとのつながりの中で生徒が主体的に関わり成長していけるよう工夫していく。 部活動を活性化させる方策を続けて検討し、活発化させていく。
	集団意識の高揚を図り、社会性の育成を図る。	あいさつ運動、清掃ボランティア活動により公共心を高める。 ⑦⑧⑫	B		
		あいさつ運動やボランティア活動の企画運営を通して、生徒の自主性や社会性の育成を目指す。 ⑦⑧⑫	B		
		学校行事等での企画、準備・運営においての生徒の積極的な参加を促すとともに、リーダーとなる生徒の育成を図る。 ⑮	A		
	部活動の活性化を図る。	部活動紹介、体験入部や各部壮行会を通して、部活に対する意識の向上を図り活性化につなげる。 ⑮	B		

※ 評価基準 A：十分よい B：よい C：やや不十分 D：不十分

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題
第1年次	基礎学力の育成と学ぶ意欲の涵養を図る。	IS ベーシック I での学び直しの授業を通して、中学校における復習を行う。また、英国数等の少人数授業により、きめ細かな学習指導を行い、基礎力を定着させるための素地を作る。 ①③⑭⑱	A	A <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力を定着させるための教材の工夫・学習改善を推進したい。 基本的な生活習慣の確立に向けて保護者との連携を重ねたい。 学校行事へ積極的に取り組ませながら、社会性をさらに高めていきたい。 キャリアスタディ I 教材の充実をはかる。 生徒自身のさらなる自覚を促すよう、服装容儀指導の工夫をしたい。
	基本的な生活習慣の確立を目指す。	挨拶の励行と服装容儀指導を全体に徹底させるとともに、きちんとした生活習慣を身に付けさせる。充実した学校生活を送れるよう個人面談等を通して指導する。 ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	B	
	特別活動へ積極的に参加させ、集団活動を通して社会性を高める。	学校行事等への積極的な参加を促進し、集団における個人の成長を図る。また、人間関係の構築とリーダー性の育成により、各ホームルームや学校行事の活性化を目指す。 ⑮⑯	A	
	進路指導の充実を図る。	キャリアスタディ I や LHR、道徳、年次行事等を通して、3年間を見通したキャリア教育の土台作りを行う。また、インターシップ等を通して社会の求める人材の育成に努力し、地域社会から認められる学校を目指す。 ⑫⑬⑭⑰⑱	A	
第2年次	基礎学力の育成と定着を図る。	IS ベーシック II や英数国における習熟度別少人数授業を通して、確かな基礎学力を身に付けさせる。授業を大切に、集中して取り組む姿勢を育成する。 ①②③⑰⑱	B	A <ul style="list-style-type: none"> IS ベーシック II ・キャリアスタディ II 教材の充実をはかる。 生徒の能力に応じた学習支援を行い、基礎力を高める。 学校行事の他、清掃活動などの日常的な活動への積極的な参加を促す。 リーダーの育成に努める。 生徒の進路意識を高揚させるようにキャリア教育をより充実させ、面談の機会を増やし生徒一人一人に応じた指導を行う。
	基本的な生活習慣を確立させる。	生徒が場面に応じた態度や挨拶・言葉づかいができるように指導を行う。服装容儀や頭髪についても日常的に厳しく指導し、普段から正しい服装を心がけさせる。また、日常の声かけや個人面談を指導に活用するとともに、家庭と協力して欠席・遅刻・早退の数を極力減少させる。 ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	B	
	特別活動に積極的に取り組ませる。	文化祭、クラスマッチ、野球応援等の学校行事への積極的な参加を通して愛校心や思いやりの心を育てる。また、集団行動において一人一人が役割を果たすことにより、生徒の成長を促す。 ⑦⑧⑮⑯	A	
	キャリア指導の充実を図る。	キャリアスタディ II、総合的な学習の時間、LHRを中心に、自己の在り方生き方について深く探求させ、生徒の進路希望を考慮したキャリア教育を行う。 ⑨⑫⑬⑭⑰	A	

※ 評価基準 A：十分よい B：よい C：やや不十分 D：不十分

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題
第3年次	基礎学力の養成と定着	授業を大切に、集中して取り組む姿勢を育成する。 ISベーシックⅢや英数における少人数・習熟度別授業を通して、確かな基礎学力を身に付けさせる。また、総合的な学習の時間やLHRも活用し、就職試験(筆記試験)や上級学校入学試験に対応できる学力向上を目指す。 ①②③⑭⑮	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に即した基礎基本を重視した授業作りの更なる充実。 ・就職試験対策の更なる充実。 ・上級学校への進学を意識させる指導。 ・第一に休まないことが求められていることの生徒への徹底。 ・欠席・遅刻・早退を繰り返す生徒への指導。 ・服装容儀・頭髪違反を繰り返す生徒への指導。 ・さらに礼儀を大切にする生徒を育てる指導。 ・より人の気持ちが理解出来る生徒にする、生き方の指導。 ・さらに生徒に社会へ関心を向けさせる指導。 ・より多くの生徒にキャリア教育の重要性を理解させる指導。 ・自己の適性と、ベストな選択をさらに深く考えることのできる生徒を育てる指導。
	基本的生活習慣の確立と生活指導の充実	社会人になることを意識させ、欠席・遅刻・早退をさせないようにするとともに、時間厳守を心がけさせる。 ④⑤⑧ 普段から正しい服装を心がけさせ、服装容儀や頭髪についても日常的に厳しく指導する。 ④⑤⑧ くり返し個人面談を実施、生徒実態を踏まえた生活指導をする。 ⑨ こまめな情報交換をし、チームとして生徒指導を行う。 ⑩	B	
	キャリア教育の充実	教員に対する言葉遣い、校内での所作から来客への会釈(挨拶)に至るまで、社会人として必要な礼儀作法を、日常の学校生活において意識的に指導し、身に付けさせる。 ⑦ ISキャリアスタディⅢを通して、進路学習を進めるとともに、働くことや防災など、社会に出て必要になることを学ばせる。 ⑫⑬⑭⑮ 個人面談を通して生徒一人一人に応じた進路指導を行う。 ⑬ 「総合的な学習の時間」やLHRにおいて面接指導を徹底する。 また、進路指導室の積極的な利用を推進し、適切な情報収集ができるようにする。 ⑫	B	
	特別活動の推進	クラスマッチや文化祭等の学校行事を通して、生徒一人一人に活躍の場を与え、生徒個人及び他者との関係における成長を促す。 ⑯	A	

※ 評価基準 A：十分よい B：よい C：やや不十分 D：不十分